

# 災害 そのとき どうなるの?? 津波からの避難

問 防災課防災計画係 ☎95-9874

11月5日は「津波防災の日」です。津波について知り、避難について確認しましょう。

## ▼津波は「速い・こわい・繰り返す」

- ・津波は、上陸後も時速約40kmで迫ってきます。足が速い人でも、津波を見てから逃げ出したのでは間に合いません。
- ・津波は、ただの波ではなくエネルギーのかたまりです。30cmの津波でも、ぶつかれば大人でも流されてしまいます。
- ・津波は、何度も繰り返し襲ってきます。最初の津波が一番高いとは限りません。

## ▼津波からの避難

- ・「伊勢・三河湾」に津波警報や大津波警報が出たら、沿岸部や川沿いにいる人、ハザードマップで津波の浸水が想定されている地域の人は、ただちに高台や一時退避場所（津波避難が可能な場所に限る）など安全な場所へ避難してください。
- ・津波注意報が発表された場合も、沿岸部や川沿いにいる人はすぐに安全な場所へ避難してください。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けてください。

## ▼緊急速報メール（エリアメール）によるお知らせ

気象庁から津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合、市内で緊急速報メール（エリアメール）により情報を受け取ることができます。

※受信できる条件は使っている携帯電話各社に問い合わせてください。



## めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問 防災課地域防災係 ☎95-9875

誇りを胸に  
日夜訓練に  
励んでいます



市消防団  
副団長  
岡島晋一さん

市民の皆様には、平素より碧南市消防団の活動にご支援、ご理解を頂き誠にありがとうございます。私共消防団は、2年前からの新型コロナウイルス感染症蔓延が徐々に落ち着く中、活動も感染症対策を行いながら、通常の訓練・行事を再開しております。

消防団の歴史も実は古く、江戸時代中期から結成された伝統ある防災組織であります。昔の都市、特に江戸では木造の住居が密集しており、ひとたび火事が起きると大きな火災になり、都市機能が失われてしまいます。江戸時代に首都江戸は3度の大火により壊滅的な損害を受けました。そこで江戸時代中期に8代将軍徳川吉宗の命により、大岡越前に町火消しを結成させたのが消防団の始まりと言われております。皆さんが時代劇で見かける纏（まとい）を屋根の上で振る町火消しはその時代に生まれました。その時も本業を他に持つ人たちが結成されており、火事から町を守るヒーローとして扱われておりました。

この300年近く前から結成されている由緒ある防災組織としての誇りを胸に、皆様の生命・財産を守るべく日夜訓練に励んでおりますので、今後とも変わらずのご支援、ご理解を頂けるとありがたいです。

そして消防団活動にご興味のある方は是非とも、入団をお待ちしております。ともに自分の住む街を、家族を守りましょう。